

八戸中央青果

「りんごセンター」が稼働 集荷～出荷まで生産者支援

八戸中央青果（横町芳隆社長、八戸市中央卸売市場）は、リンゴ農家の支援に乗り出す。立体冷蔵庫や選果機を備えた「りんごセンター」が4月から稼働し、今年度産から本格運用する。これにより生産者に対し、集荷から保管、選果、出荷まで一気通貫したサービスを提供できるようになる。

立体冷蔵庫は296パレットの収容が可能。約0℃、湿度約75%で管理され、通年出荷が可能に。「」に『スマートフルーツ』などを活用すれば、さらなる鮮度保持効果が期待できるのである。（原浩一・特産統括本

部長）。保管されたリンゴは、コンピュータを通じた出入庫の指示に応じてパレットごと自動搬送される。選果機はリンゴを一個ずつ受皿に乗せるもので、センサーで糖度、褐変の有無などを判定、仕分けされる。これを、2階からコンベアで運ばれるダンボールに詰めて出荷する。

選果機は生産者が利用しても良い。そのため、まずは収穫を済ませて、その後時間の余裕があるときに随時選果するという使い方もできる。もちろん、同社が集荷とともに選果を代行することも可能だ。

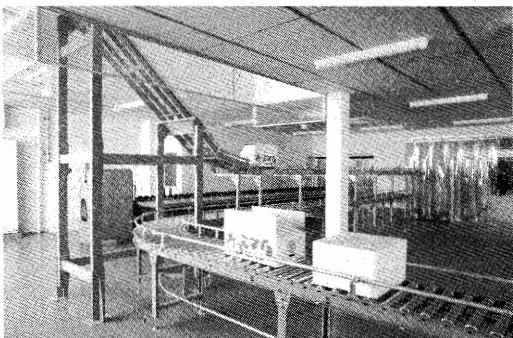
「産地では生産者の減少、高齢化による人手不足が深刻化している。こ

うした中、安心して生産してもらえる体制を整えた」としている。まずは

同社のある青森県南部地域の生産者の獲得を狙う。



生産者が自身で選果することも可能



ダンボールはコンベアで搬送